

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和4年10月5日

①学校名:	秋田大学 大学院(国立)	②所在地:	秋田県秋田市本道一丁目1番1号		
③課程名:	秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻(博士前期課程) 臨床看護学分野診療看護師(NP)コース	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2020/4/1
⑥責任者:	大学院医学系研究科長 羽瀧 友則	⑦定員:	医学系研究科保健学専攻 (博士前期課程)12名 (令和3年度臨床看護学分野診療 看護師(NP)コース修了者4名)	⑧期間:	2年
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>目的:看護師が多様な臨床場面において知識・技術・態度の基礎的能力を身につけ、医師からの手順書による指示を基に特定行為の実施判断、実施、報告の一連の流れを適切に行うための実践能力を身につけるとともに、医療環境や医療技術の急速な変化・発展に対応できる高い倫理性と柔軟な適応能力を備え、保健医療の中核を担える専門家を育成し、人々の健康と福祉に広く貢献することを目的とする。</p> <p>概要:診療看護師(NP)コースでは、周術期、急性期、慢性期、在宅療養の各診療や療養の場で活躍するために必要な科目を配置し、高い専門性と優れた看護実践能力を持つ高度実践看護師を養成する。医療・介護・福祉の提供者の視点から、患者・家族への安心かつ安全に援助を提供するシステムの要となりうる医療者を育成する教育を行う。</p>				
⑩10テーマへの 該当の有無	医療・介護	⑪履修資格:	<p>次のいずれかに該当する者で看護師免許を有し、免許取得後通算5年以上の看護実務経験を有する者であり、かつ本学が実施する入学試験に合格した者。</p> <p>① 大学を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者</p> <p>② 学校教育法(昭和22年法律第26号)の定めにより、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者</p> <p>③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者</p> <p>④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定したものの当該課程を修了した者</p> <p>⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)</p> <p>⑧ 学校教育法(昭和22年法律第26号)の定めにより他の大学院に入学した者であって、大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者</p> <p>⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者</p> <p>⑩ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月3日までに22歳に達する者</p>		
⑫対象とする職 業の種類:	看護師				
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・医学的根拠、データから論理的な臨床推論を行うための知識・技術。 ・臨床推論に基づいて、処置のリスクを理解して、必要な対処を提案し、実施あるいは専門職(医師)などに支援を受けて迅速な対処を実践するための知識・技術。 ・治療・療養に関わらず、倫理的配慮を行ないながら、さらにその場の移行を念頭に置いた対処を行うために必要な知識・技術。		(得られる能力) ・患者の病態・生活背景・価値観に基づいたアセスメントを行う能力(包括的健康アセスメント能力、熟練した看護実践能力)。 ・医学的根拠、データから論理的な臨床推論を行うための医療処置・管理の実践能力、熟練した看護実践能力 ・看護マネジメント能力 ・医療健康福祉制度の活用・開発能力 ・倫理的意思決定能力 ・問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力(チームワーク・協働能力)。 ・自らの看護実践を振り返り課題を考察し、NPとしての役割開発に向けて活動する能力。		

⑭教育課程:	<p>現代の保健医療の現状と課題についての理解を基盤に、秋田県の実生活環境の特性と健康問題に対する支援を探究するため、保健学特論を必修科目とする。さらに、保健・医療・福祉チームのリーダーシップを担う人材育成の基本として高い倫理性が求められるため、倫理的意思決定能力を修得させる保健医療倫理学を必修とする。また、国際的視野を持って活動できることをめざし、国際保健医療協力論を隔年で開講する。</p> <p>地域や医療における対象の健康上のニーズを的確に判断し、医学的根拠、データから論理的な臨床推論を行うための知識を修得する科目として看護学研究方法論と看護教育学、医療健康福祉制度の活用・開発能力及び包括的健康アセスメント能力を育成するため、看護政策論を必修科目とする。また、基礎看護学特論、地域・在宅看護学特論Ⅰ・Ⅱを開講し、実践能力の向上をめざし、対象理解のための理論と健康問題解決のための援助方法を探究するため、成人期支援看護学特論、高齢期支援看護学特論、女性・小児・家族支援看護学特論を開講する。</p> <p>本コースの必修科目のフィジカルアセスメント・クリティカルケア特論では、データから論理的な臨床推論を行うための医療処置・管理の実践能力、熟練した看護実践能力を育成する。臨床推論を置き、処置のリスクを理解して、必要な対処を提案し、実施あるいは専門職(医師)などに支援を受けて迅速な対処を実践するための知識・技術を修得させる。特定行為実践やNP特論では、問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を育成するために、課題解決型学修、ロールプレイなどのアクティブ・ラーニングを取り入れている。</p> <p>診断のためのNP実践演習、治療のためのNP実践演習、NP統合演習では技術習得のためシミュレーション教育を行い、NP統合実習では、多様な診療・療養の場においてチーム医療における多職種連携を重視したトレーニングを行うことで、自らの看護実践を振り返り課題を考察し、NPとしての役割開発に向けて活動する能力を修得させる。</p>						
⑮修了要件(修了授業時数等):	<p>本研究科に2年以上在学して、所定の単位61単位以上を修得し、かつ、必要な論文指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。</p>						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	<p>(学位名)修士(看護学) (大学独自の資格等)NP資格認定試験受験資格</p>						
⑰総授業時数:	83 単位	⑱要件該当授業時数:	76	該当要件	企業等、双方向、実務家、実地	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	91%
⑳成績評価の方法:	<p>成績評価は、プレゼンテーションやディスカッション、演習や課題レポート、筆記試験など各科目で設定された方法により行う。技能を伴う科目の評価は、実技試験、臨地実習評価など(レポート、実習評価表、実習指導報告書および自己評価等を取りまとめたポートフォリオなど)により行う。特別研究及び課題研究では、進捗状況が各年次で達成すべき水準に到達しているか発表会等にて確認する。最終試験は公開での口頭発表とし、十分な質疑応答を行う。</p>						
㉑自己点検・評価の方法:	<p>秋田大学では、学校教育法第109条第1項に基づき、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受けている。また、各事業年度の業務実績について評価・報告を行っている。</p>						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	<p>本コースの1期生(令和3年度修了)は一般社団法人日本NP教育大学院協議会が実施するNP資格認定試験に全員合格しており、その後の医療機関での活動状況を情報収集することで教育効果を検証する。</p>						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 実習者の特定行為が問題なく行われるように、実習計画の確認、実習の進捗状況、実習の成果及び評価について施設間の情報共有を図るため定期的に会議を開催する。</p> <p>(自己点検・評価) 特定行為研修が効果的に実施できるように連携するとともに、特定行為研修の進捗や実施状況を把握するために特定行為研修管理委員会を定期的に開催する。また、各区分の特定行為研修の評価を行い改善につなげていく。</p>						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	<p>授業は社会人が受講しやすいように夜間や土曜日開講しているほか、WebClassやZoom、オンデマンド授業等多様なメディアを利用している。</p> <p>また、職業を有している者等に対し、標準修業年限を超えて一定の期間(3年又は4年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができるよう、長期履修制度を設けている。</p>						
㉕ホームページ:	<p>(URL) http://www.med.akita-u.ac.jp/hoken/graduate_school/master/kangoryuiki.php#np</p>						